

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. 練習会場等について

- (1) 競技場外の投擲練習は禁止する。招集終了後、競技場内で審判の指示で練習を行う。
- (2) 駐車場での全ての練習を禁止する。
- (3) 競技場外周は、歩行者の危険回避のため、ジョギングのみとする。なお左回りとする。
- (4) 指定された時間と場所において競技場内での流し・ダッシュ等を行ってもよい。
なお、競技の進行によって走行可能な場所が変わるため、審判の指示に速やかに従うこと。
- (5) 野球場横の多目的芝生広場では、ジョギングや流しを行ってもよい。

3. 招集について

- (1) 招集時間は、トラックは25分前に始め15分前に終わる。フィールドは50分前に始め40分前に終わる。ただし走高跳と棒高跳は60分前に始め50分前に終わる。
- (2) リレーオーダー用紙は招集完了時刻の1時間前に招集所へ提出すること。

4. 競技について

- (1) 短距離種目では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走ること。
- (2) 男子5000m・3000mSC、女子3000mは、タイムレース決勝とする。
- (3) 男女800m予選は、オープンスタートとする。
- (4) 男女5000m競歩は、競技運営上の理由から途中で競技を止める場合がある。
- (5) 男子5000m・女子3000mはグループスタートで実施する。
- (6) 本大会のスタート動作における競技規則については、国内適用で競技をおこなう。
- (7) 三段跳びの踏切板は男子は11m、女子は8mでおこなう。
- (8) フィールド競技の公式練習は原則2回とする。
- (9) 携帯電話やトランシーバー、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDもしくは類似の機器を競技場内に持ち込んではいならない。

5. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは胸部と背部に着けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部のみでよい。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識（レーンナンバーカード）を招集所で受け取り、3000m以上の走者はパンツの左右後方に、1500m以下及び4×100mRのアンカー、4×400mRの2走・3走・4走はパンツの右後方につけること。

6. 競技の抽選並びに番組編成について

- (1) トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順序は、それぞれプログラム通りとする。ただし準決勝以後は主催者で抽選して決定する。
- (2) トラック競技においてプラス出場者が決定数を超える場合、同記録者については、写真判定を拡大し、細部まで読み取り着差の判定をする。1000分の1秒まで同じで、レーンに余裕のない場合は本人または代理人によって抽選する。

7. 競技用具について

棒高跳用のポールは跳躍場において審判員が検査する。やり、ハンマー、砲丸、円盤は各種目招集開始30前から招集開始時刻まで100mゴール付近の器具庫内において検査する。検査に合格した器具は、競技場借上げとして使用することができる。競技終了後、同じ場所で返却する。

8. フィールド競技計測ラインについて

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	やり投	ハンマー投
男子	6 m 0 0	1 1 m 5 0	1 0 m 0 0	2 4 m 0 0	4 0 m 0 0	2 0 m 0 0
女子	4 m 5 0	9 m 0 0	7 m 0 0	2 0 m 0 0	2 7 m 0 0	1 5 m 0 0

荒天の場合は審判が指示する。

9. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

		練習	試技				
男	走高跳	1.65・1.80	1.70	1.75	1.80	1.85	以後3cmずつ
女	走高跳	1.30・1.50	1.35	1.40	1.45	1.48	以後3cmずつ
男	棒高跳	2.70・3.50・4.00	2.80	3.00	3.20	3.40	以後10cmずつ
女	棒高跳	1.70・2.20・2.60	1.80	2.00	2.20	2.30	以後10cmずつ

荒天の場合は審判が指示する。

第1位が同成績の場合における順位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

第6位が複数名いる場合、東海新人出場権決定の為のバーの上げ下げも同様とする。

10. 表彰について

3位までの入賞者は、競技結果正式発表後10分以内に本部へ集合し、表彰を受ける。4位から6位の入賞者には賞状を授与する。

11. 東海高校新人陸上競技選手権大会への出場権について

各種目6位までの入賞者6名には、10月26・27日 パロマ瑞穂スタジアム（愛知県）にて行われる、第22回東海高校新人陸上競技選手権大会への出場権を与える。

競技結果正式発表後すぐに玄関ロビーで受付を行うこと。都合により出場を辞退する場合は、競技結果正式発表後、30分以内に受付まで連絡すること。出場辞退があった種目は、決勝進出者より順に繰り上げ推薦し、出場権を与える。

12. 来年度県総体シート権について

競歩、棒高跳、ハンマー投、女子三段跳を除く個人種目の8位までの入賞者は、来年度の県高校総体地区予選免除者となり、県高校総体への出場権が与えられる。

13. その他

(1) 補助員は、両日とも指定された時間に、正面前フィールド内に集合すること。

(2) 各自が使用した場所は、責任を持って清掃し、ごみも必ず持ち帰ること。

(3) 大会期間中に競技場で発生した傷害や疾病は、救護室で応急処置を行うが、その後の責任は負わない。

参加人数・参加校数

	男子	女子	合計
岐阜	320	194	514
西濃	139	60	199
中濃	141	83	224
東濃	158	73	231
飛騨	85	50	135
合計実人数	843	460	1303
合計参加校	65	56	66